

総合英語 B

科目責任者 飯塚 秀樹
学年・学期 1 学年・通年

I. 前 文

TOEFLで使用する英語の文章は、英語の論理的な展開、考え方に基づいて構成されている。つまり、TOEFLを学習することはより広い意味で考えると、英語文化圏における英文の論理的な展開、思考方法などを学習することと考えてもよいであろう。

II. 担当教員

佐藤 利哉
坂本 洋子
廣田 美玲

III. 一般学習目標

本講座では、書き言葉の表現と文法、読解、リスニング等、日本語で学んだ方が効果的である学習項目を総合的に学習する。

IV. 学修の到達目標

- 1) 英語の標準的な書き言葉の表現や文法の知識を増大させる。
- 2) アカデミックな場で使用される文章を正確に読めるようにする。
- 3) 英語の聴解力を向上させる。

V. 授業計画及び方法

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者
1	4	30	木	1	Introduction	佐藤 利哉 坂本 洋子 廣田 美玲
2	5	7	木	1	範囲・進度等については各担当教員が指示する。	
3		14	木	1		
4		28	木	1		
5	6	4	木	1		
6		11	木	1		
7		25	木	1		
8	7	2	木	1		
9	8	27	木	1		
10	9	3	木	1		
11		10	木	1		

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者
12	9	17	木	1	範囲・進度等については各担当教員が指示する。	佐 藤 利 哉 坂 本 洋 子 廣 田 美 玲
13	10	1	木	1		
14		15	木	1		
15		22	木	1		
16	12	3	木	1		
17		10	木	1		
18	1	7	木	1		
19		14	木	1		
20		21	木	1		

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

定期試験, TOEFLテスト, および出席状況・授業態度をもとに決める。

VII. 教科書・参考図書・AV資料

各担当教員に確認すること。

VIII. 質問への対応方法

基本的には随時受け付ける。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置くDP ○：重点を置くDP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	○
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	○
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	○
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

提出されたワークシートを評価したうえ、返却します。

XI. 求められる事前学習、事後学習

シラバス別冊に記載。なお、シラバス別冊に記載が無い場合、要点を確認しておくこと。（所要時間の目安20分）

XII. コアカリ記号・番号

シラバス別冊に記載。なお、シラバス別冊に記載が無い場合、要点を確認しておくこと。（所要時間の目安20分）